



医師会病院だより



理念

安心して暮らせる地域造りを目的とし、益田地域のニーズにあった保健・医療・福祉の提供を行います。

基本方針

1. 公正で安全な医療を提供し人材育成と研修の場を提供します。
2. 患者さま・ご家族さまの人権と意志を尊重した、納得と同意に基づいた医療を提供します。
3. かかりつけ医の支援病院としてきめこまかな病診連携を行います。
4. 在宅を目指した保健予防・リハビリテーション・緩和ケアの充実を図ります。
5. 公益社団法人として益田地域全体にわたる保健・医療・福祉のセーフティネットを構築し、公益の増進に寄与します。

第87号

患者様のために基本動作の介助技術を向上しよう

第1回接遇美人部署コンテスト

健康食レシピ
糖尿病バイキング

患者様のために基本動作の介助技術を向上しよう！！

～セラピストと回復期リハビリテーション病棟スタッフの

勉強会取り組みとそこから伝えたいこと～

リハビリテーション科連載記事より

今回、病院だよりを担当することになりました。作業療法士のNです。「何について、掲載しようか」と考えている時に、ちょうど病棟スタッフと一緒に基本動作の勉強会を行う機会がありました。なぜ勉強会をやろうと思ったのか！？そして取り組みを通して感じたことやこの文を読んで頂いている方に伝えたいことを私なりにまとめたので簡単に紹介させていただきます。

はじめに

回復期リハビリテーション病棟の患者様の一日の生活を考えると、セラピストと行う練習以外の時間も多くあります。患者様と生活の中で関わることが多い病棟スタッフの関わりがとても重要だと考えていました。一日の生活の動作で、良い動きが引き出せるように関わっていく必要があると思います。そこで今回、セラピストと病棟スタッフがリハビリ・介助技術の向上や連携を深めるために基本動作の勉強会を行いました。

テーマについて

簡単に寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩行などを基本動作と言います。これは、応用的な動作へ繋がるため、この動作を練習することが大切になってきます。そこで、今回基本動作をテーマに技術向上を目指すことにしました。

実際の取り組みの様子（第1回目です。今後も続けていきます。）

今回は、「寝返りから起き上がり」までをテーマに挙げて行いました。写真のように、患者様役

を病棟スタッフがを行い、実技をまじえて進行了ました。実技をまじえることで、技術をより向上でき患者様の良い動きを引き出せるようになればと考えています。この取り組みをきっかけに、より質の高い支援が行っていけると思っています。また、退院後に介護を必要とする方の家族様へ分かりやすくやり方を伝えられるようにスタッフ一同頑張っています。

おわりに

私自身、基本動作の勉強会を行うことが初めてでもあり、戸惑いもありましたがセラピスト・病棟スタッフがディスカッションをしながら行なうことができました。技術向上だけでなく、セラピストと病棟スタッフ間との連携を深めることができました。そして、技術の向上と連携を深めることで患者様への支援の質がより向上出来ると思います。このことが、患者様の日常生活向上に繋がれば良いと考えています。



この記事は医師会病院のリハビリテーション科が担当しホームページでも隔月で掲載を行っております。現在40を超える記事が掲載してありますので是非ご覧ください。

医師会病院：<http://hp.masuda-med.or.jp/>

リハビリテーション科紹介：<http://hp.masuda-med.or.jp/reha01/>

リハビリテーション科連載：<http://hp.masuda-med.or.jp/rehabilitation-archive/>

第1回 接遇美人部署コンテスト表彰式



当医療センターの接遇改善推進委員会は、全部署の主任、三十余名で広報・教育・企画の三つの分科会で構成されており、それぞれ組織全体の接遇改善向上に取り組んでおります。サービス向上のための様々な改善活動のひとつに、4か月ごとの短期目標があります。広報分科会では、「挨拶」5月～8月・「言葉使い」9月～12月・「態度」1月～4月として、各目標ごとに最も優れている部署を、接遇美人と称して表彰しようと今年度、新たに取り組みました。

そして去る11月17日、第48回TQM大会の場におきまして表彰式が行われました。5月～8月の短期目標「挨拶」にて、接遇美人部署ランキングのアンケート調査の結果、第1回の記念すべき大賞を射止めたのは、さくらんぼ保育所のみなさんです。委員長と分科会長より表彰状が贈られ、「挨拶は毎日自然に行っていることで、まさかの事でうれしいです」と喜びのコメント。おめでとうございます！次回、言葉づかい(9月～12月)の接遇美人は・・・乞うご期待！

日頃から様々な部署が接遇改善活動を積み重ねています。今回の表彰が各職員の刺激となり、ひとりひとりの意識向上、ひいては組織全体のサービスの向上に繋がるよう、患者様や利用者様のため、今後も努力していきたいと思います。

文責 接遇改善推進委員会 広報分科会 佐々木 栄

看護部ブログ観覧者10000人突破～

日々の業務におわれながらも、楽しく、前向きに、時には感動を受けながら奮闘する、看護師・介護士のブログです。益田地域の情報や病院での出来事を皆様にお伝えしようと活動しています。ブログ開設から2年が経過し、昨年の12月を持ちまして、閲覧件数がついに10000件を超えました。(ようやく達成しました。)

メンバーはS看護部長を始め老若男女、美男美女？も多数参加しています。メンバーはもちろんの事、面白いネタがあれば、「面白いね。ブログ書いてみない？」と病院中をスカウトして歩いています。こんな好き放題書いているブログですが、興味のある方は1度のぞいてみて下さい。もしかしたら医師会病院のファンになるかも・・・皆様のコメント是非お待ちしております。

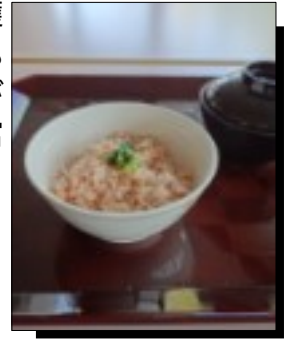


URL <http://masudaishikaikango.blog130.fc2.com/>
益田地域医療センター医師会病院 看護部ブログ で検索下さい

健康食レシピ

切干大根と桜えびのご飯

切干大根は、秋の終わりから冬にかけて収穫された大根を細切りにし、天日干しされたもので、常温保管できる食品です。食物繊維が多く、カルシウムや鉄分も豊富に含まれています。また、桜海老もカルシウム豊富な食品です。
手間がかかると思われがちな乾物食品ですが、水で戻したら後はお米と一緒に炊くだけです。彩りの良い炊き込みご飯をお楽しみください。



材料（4人分）

米	2合
ごま油	小さじ1
しょうが	5g
切干大根(乾)	20g
桜海老(乾)	12g
酒	大さじ1
薄口しょうゆ	小さじ2
みつば	4～5本

(一人分)

エネルギー	300kcal
たんぱく質	7.5g
脂肪	1.3g
食物繊維	1.5g
カルシウム	93mg

(作り方)

下準備

米は洗ってザルにあげ、水気をきっておきます。

しょうがは薄切りにし、細く千切りにします。

切干大根は水につけて戻した後、ざるにあげて水気を切り、手でしぼって、食べやすい大きさにざく切りにしておきます。

みつばは茹でて、適当な大きさに切っておきます。

調理

炊飯器の釜に 米を入れ、調味料を入れた後、通常通りの水加減に合わせ、軽く混ぜます。

桜海老、 の具材をのせ炊飯器で炊き上げます。

仕上げ

炊き上がったら、全体を混ぜ器に盛ってみつばをのせて出来上がりです。

糖尿病バイキング教室のご案内

2月の予定

月 日	時 間		内 容
2 / 5〔火〕	11:00～ 12:30	第4回	表1～表6のおさらいと調味料 体ほかほか、あたたかめん類
2 / 12〔火〕	11:00～ 12:30	第5回	合併症を防ごう(塩分) 減塩料理のポイント
2 / 19〔火〕	11:00～ 12:30	第6回	合併症を防ごう(コレステロール) 低コレステロールの工夫
2 / 26〔火〕	11:00～ 12:30	第7回	嗜好品・外食について 低エネルギーのぜんざい

管理栄養士が糖尿病の食事療法をアドバイスいたします。

料理の関係上予約をお願いします。参加希望の方はお申し込み下さい。なお、当日参加もできますのでお気軽にお尋ねください。参加費(材料費)400円が必要です。事務手続きにより別途指導料などが掛かります。

申し込み先 医師会病院〔22-3611〕(内線190) 栄養管理室

益田地域医療センター 医師会病院 外来診療担当医一覧表

平成24年1月4日より

診療科	診察	月	火	水	木	金	備考
内科 消化器内科	午前	狩野 稔久	古田 晃一郎 (消化器内科併診)	小川 哲生	狩野 稔久	小川 哲生	内科一般 消化器内科(火曜日)
						古田 晃一郎 (再診のみ)	
循環器内科	午前				伊藤 新平 (9:00~15:00)		循環器内科
外科	午前	服部 晋司	林 彦多	榎野 好成 林 彦多 (再診のみ)	和氣 仁美 (11:00まで)	五十嵐 雅彦	消化器外科・呼吸器外科 小児外科・肛門科 一般外科
					山野井 彰 (胆・肝・膵外科) (11:00~)		
					五十嵐 雅彦 (再診のみ)		
肛門外科	午前				服部 晋司 林 彦多		第1・3・5木曜日 服部医師 第2・4木曜日 林医師
整形外科	午前	交互診療	守屋 淳詞 (脊椎は除く)	大中 博司	大中 博司	守屋 淳詞 (脊椎は除く)	整形外科一般
麻酔科	午前		島大麻酔科			島大麻酔科	交互診療 (島根大学麻酔科教授月1回不定期診療)
川比 斥之介科	午前	新垣 美佐	柿木 伸之	新垣 美佐	中島 暁美 (9:30~12:00)	柿木 伸之	川比 斥之介科全般
リウマチ科 (電話予約制)		近藤 正宏 角田 佳子 (9:00~15:00)					膠原病専門外来 近藤・角田の交互診療 電話による完全予約制
呼吸器外科	午前		岸本 晃司 (9:00~12:00)				第2・4火曜日 呼吸器疾患全般 二次健診後のフォロー
循環器外科	午前			末廣 章一			第1水曜日 (心臓・血管外科)
特殊外来	脳神経領域	午前		山崎 達輔			
	頭痛外来	午前		石崎 公郁子			完全予約制
	放射線治療	午前				玉置 幸久 猪俣 泰典(教授)	第4金曜日 玉置・猪俣の交互診療
	乳腺外来	午後		榎野 好成 (13:00~)			14:00~16:00
	緩和ケア外来	午前				五十嵐 雅彦 服部 晋司	第1・3・5木曜日
	外科 北二科外来	午前					田島 義証 (島大消化器総合外科教授)

初診受付 午前8時30分~11時00分 再診受付 午前8時30分~11時30分

緩和ケア外来のお知らせ

「がん」と診断された患者さんは、手術や化学療法など「がん」そのものの治療だけでなく、「がん」に伴うつらさ(痛みなどのつらい症状、こころの問題、療養上の気がり)を解決する事も大切です。そこで当院では患者さんやご家族のサポートをするために緩和ケア外来を行っています。

外来日：木曜日(第1・3・5週目)

担当医：五十嵐雅彦・服部晋司

事前の予約が必要です。

ご予約・ご相談、問い合わせ先 **がん相談支援センター** 担当：二宮 隆史

発行：益田地域医療センター 広報委員会

〒699-3676 島根県益田市遠田町1917-2 TEL：0856-22-3611(代表) FAX：0856-22-0407

E-mail：info@masumi.shimane.med.or.jp 医師会病院URL：http://hp.masuda-med.or.jp/